

※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

平成 22 年 12 月 22 日

理事長 間宮 忠敏

訪日外客数・出国日本人数 (2010 年 11 月推計値、9 月暫定値)

Visitor Arrivals and Japanese Overseas Travelers

◇11 月：訪日外客数 / 前年同月比 12.4%増の 63 万 5 千人に……………P3

◇11 月：出国日本人数 / 前年同月比 8.5%増の 138 万 8 千人に……………P4

2010 年 11 月 推計値

頁/Page

- ◆総括表：2010 年 訪日外客数・出国日本人数 …………… 1-2
2010 Visitor Arrivals and Japanese Overseas Travelers
- ◆解説：2010 年 11 月 訪日外客数・出国日本人数 …………… 3-17

2010 年 9 月 暫定値

- ◆数表：2010 年 9 月 国・地域別/目的別 訪日外客数 (暫定値) …………… 18
Visitor Arrivals by Country/Area & Purpose of Visit for Sept. 2010 (provisional)
- 2010 年 1 月～9 月 国・地域別/目的別 訪日外客数 (暫定値) …… 19
Visitor Arrivals by Country/Area & Purpose of Visit for Jan.- Sept. 2010 (provisional)
- 2010 年 年齢層 / 性別 出国日本人数 (暫定値) …………… 20
Japanese Overseas Travelers by Age and Gender for 2010 (provisional)
- 2005 年～2009 年 各国・地域別 日本人訪問者数 (受入国統計) …… 21
Japanese Overseas Travelers by Destination (Visitor Arrivals from Japan) 2005 – 2009

お問い合わせ先：企画部 調査研究グループ

TEL : 03-3216-1905



平成22年 訪日外客数・出国日本人数

2010 Visitor Arrivals & Japanese Overseas Travelers

日本政府観光局(JNTO) 企画部

Corporate Planning Department, Japan National Tourism Organization
Tel: 03-3216-1905

平成22年12月22日

22/Dec/2010

(単位:人 / Unit: Persons)

月 Month	訪日外客数 Visitor Arrivals			出国日本人数 Japanese Overseas Travelers		
	平成21年 2009	平成22年 2010	伸率 Change %	平成21年 2009	平成22年 2010	伸率 Change %
1 Jan.	580,673 (399,352)	640,346 (437,752)	10.3 (9.6)	1,172,539	1,264,299	7.8
2 Feb.	408,628 (256,117)	664,982 (514,106)	62.7 (100.7)	1,359,580	1,289,825	-5.1
3 Mar.	568,586 (371,017)	709,684 (484,298)	24.8 (30.5)	1,419,042	1,563,113	10.2
4 Apr.	626,313 (458,192)	788,212 (601,872)	25.8 (31.4)	1,201,614	1,212,959	0.9
5 May	485,713 (334,957)	721,348 (536,880)	48.5 (60.3)	1,036,356	1,262,453	21.8
6 June	424,427 (286,981)	677,064 (511,123)	59.5 (78.1)	947,928	1,312,608	38.5
1~6 Jan.-June	3,094,340 (2,106,616)	4,201,636 (3,086,031)	35.8 (46.5)	7,137,059	7,905,257	10.8
7 July	632,722 (483,541)	878,582 (714,623)	38.9 (47.8)	1,276,275	1,405,335	10.1
8 Aug.	679,586 (504,395)	802,725 (613,413)	18.1 (21.6)	1,516,588	1,642,240	8.3
9 Sept.	535,544 (335,416)	717,756 (498,421)	34.0 (48.6)	1,590,607	1,541,041	-3.1
10 Oct.	655,481 (455,813)	* 727,600	* 11.0	1,364,447	* 1,430,000	* 4.8
11 Nov.	565,089 (380,067)	* 635,000	* 12.4	1,279,318	* 1,388,000	* 8.5
12 Dec.	626,896 (493,985)			1,281,390		
1~11 Jan.-Nov.	6,162,762 (4,265,848)	* 7,963,300	* 29.2	14,164,294	* 15,312,000	* 8.1
1~12 Jan.-Dec.	6,789,658 (4,759,833)			15,445,684		

◆注1: 本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2: 平成21年1~12月は確定値、平成22年1~9月は暫定値、*部分はJNTOが独自に算出した推計値である。

◆注3: 訪日外客数(確定値・暫定値)は法務省資料を基にJNTOが算出し、出国日本人数(確定値・暫定値)は法務省資料を転記した数値である。

◆注4: 訪日外客(確定値)とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。

◆注5: ()内は、総数のうちの観光客数である。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 2. The figures for Jan. - Sept. 2010 are provisional, while * stands for the preliminary figures estimated by JNTO.

◆Note 3. Provisional and definitive figures for Visitor Arrivals are compiled by JNTO (source: Ministry of Justice), and provisional and definitive figures for Japanese Overseas Travelers are provided by the Ministry of Justice.

◆Note 4. The figures in () represent the number of tourists among the total.

2010年11月 訪日外客数 (JNTO推計値)

Visitor Arrivals for Nov. 2010 (Preliminary figures by JNTO)

国・地域	Country/Area	総数 Total			総数 Total		
		2009年 11月	2010年 11月	伸率(%)	2009年 1月～11月	2010年 1月～11月	伸率(%)
総数	Grand Total	565,089	635,000	12.4	6,162,762	7,963,300	29.2
韓国	South Korea	130,371	197,200	51.3	1,408,745	2,237,300	58.8
台湾	Taiwan	85,335	89,400	4.8	945,661	1,186,800	25.5
中国	China	81,462	68,500	-15.9	943,558	1,352,700	43.4
香港	Hong Kong	32,125	27,400	-14.7	398,816	466,000	16.8
タイ	Thailand	14,298	18,900	32.2	160,855	195,500	21.5
シンガポール	Singapore	19,871	23,600	18.8	110,300	144,200	30.7
豪州	Australia	17,289	15,200	-12.1	187,416	201,000	7.2
米国	U.S.A.	57,866	59,100	2.1	644,311	673,300	4.5
カナダ	Canada	12,375	11,600	-6.3	139,414	141,100	1.2
英国	United Kingdom	15,264	15,100	-1.1	167,693	171,400	2.2
フランス	France	10,219	11,100	8.6	131,346	140,800	7.2
ドイツ	Germany	10,446	12,500	19.7	103,857	117,000	12.7
マレーシア	Malaysia	9,718	11,100	14.2	74,728	97,100	29.9
インド	India	5,133	5,400	5.2	54,723	62,600	14.4
ロシア	Russia	4,469	5,000	11.9	43,285	47,800	10.4
その他	Others	58,848	63,900	8.6	648,054	728,700	12.4

◆注1：本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2：上記の2009年の数値は確定値、2010年の数値はJNTOが独自に算出した推計値である。

◆注3：訪日外客(確定値)とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 2. Above figures for 2010 stands for the preliminary ones estimated by JNTO.

【訪日外客数】

11月は、前年同月比12.4%増の63万5千人
～ 13か月連続の増加 ～

2010年11月： 635,000人（前年同月比12.4%増、69,900人増）

2010年1～11月： 7,963,300人（前年同期比29.2%増、1,800,500人増）

11月の訪日外客数は、前年同月比12.4%増の63万5千人であった。昨年11月以降、前年同月比13か月連続の増加となった。但し、11月単月を過去との比較で見ると、本年は第2位にとどまっている。これまで11月単月で過去最高であった2007年11月（686,747人）と比べ、約51,700人少なかった。なお、主要15市場のうち、タイ、シンガポール、マレーシアは11月単月で過去最高を記録した。

1月～11月累計の訪日外客数は、前年同期比29.2%増の796万3千人であった。1月～11月累計を過去との比較で見ると、本年は過去最高を記録した。これまで過去最高であった2008年1月～11月（7,837,481人）と比べ、約125,800人多かった。

参考： 11月の訪日外客数（年別で多い順、2010年は第2位）
2007年：686,747人、2010年：635,000人

【要因】 羽田空港の国際線発着枠拡大、訪日旅行の広告・宣伝効果、景気の回復・好転などが訪日外客増に寄与

- 11月のプラス要因は、広告・宣伝の効果（韓国、台湾、香港、タイ、豪州、米国、カナダ、フランスなど）、景気の回復・好転（韓国、台湾、中国、香港、タイ、シンガポール、カナダ、フランス、ドイツなど）、羽田空港の国際線発着枠拡大（韓国、台湾、香港、タイ、シンガポール、米国、フランス、マレーシア）及びその他の航空便・航空座席数の増加・回復（韓国、香港、タイ、シンガポール、ドイツなど）、割安航空券の設定・販売競争激化（カナダ）、訪日個人観光査証の発給条件の緩和措置（中国）などが挙げられる。

注： 2010年10月21日に、羽田空港の新滑走路の供用が開始され、新国際線ターミナルが開業したことに伴い、10月31日以降、国際線の発着枠が拡大した。10月31日の羽田空港への新規就航都市は、台北（松山）、バンコク、シンガポール、ホノルル、サンフランシスコ、ロサンゼルス、パリであった。また、同日、既存の就航都市であるソウル（金浦）、香港との間で航空便が拡充した。11月16日にはコタキナバルへも新規就航した。（なお、羽田空港は、12月にクアラルンプール、2011年1月にニューヨーク、バンクーバー、2月にデトロイト、ロンドンとの間で、新規に航空路線が開設される予定である。）

- また、横浜でAPEC閣僚会議（11月10日～11日）及びAPEC首脳会議（11月13日～14日）が開催され、各国政府関係者や外国の報道関係者など数千人が訪日した。
- 一方、沖縄県尖閣諸島沖の日本領海内で本年9月7日、違法操業中の中国漁船が海上保安庁の巡視船に衝突した。訪日中国人数は9月まで毎月、前年同月比で大幅増を記録してきたが、この事件を巡る報道等の影響で、10月には減少基調に転じ、11月には減少幅が拡大した。（10月：前年同月比1.8%減、11月：15.9%減）
- 11月におけるその他のマイナス要因としては、円の高止まり（香港、シンガポール、米国、カナダ、英国、フランス、ドイツなど）、景気の低迷（米国など）、中国漁船衝突事件の影響（香港）、マニラ・バスジャック事件後の外国旅行意欲

の減退（香港）、市長・市議会選挙による外国旅行の手控え（台湾）、航空便・航空座席数の減少・不足（中国、豪州、米国、カナダ、英国など）、日本経由需要の減少（豪州、カナダ）、航空機材のトラブルの影響（豪州）、旅行地間の競争激化（豪州）、アジア競技大会の観戦需要の高まりによる外国旅行の手控え（中国）などが挙げられる。

【出国日本人数】

11月は、前年同月比8.5%増の138万8千人
～ 2か月連続の増加 ～

2010年11月： 1,388,000人（前年同月比8.5%増、109,000人増）

2010年1～11月： 15,312,000人（前年同期比8.1%増、1,148,000人増）

11月の出国日本人数は、前年同月比8.5%増の138万8千人であった。本年10月以降、前年同月比2か月連続の増加となった。但し、11月単月を過去との比較で見ると、本年は第7位にとどまっている。これまで11月単月で過去最高であった2000年11月（1,531,695人）と比べ、約144,000人少なかった。

1月～11月累計の出国日本人数は、前年同期比8.1%増の1,531万2千人であった。1月～11月累計を過去との比較で見ると、本年は第7位にとどまっている。これまで過去最高であった2000年1月～11月（16,386,621人）と比べ、約1,075,000人少なかった。

参考： 11月の出国日本人数（年別で多い順、2010年は第7位）

2000年：1,531,695人、2006年：1,516,066人、2005年：1,500,684人、2004年：1,484,702人、
2007年：1,451,116人、2002年：1,396,561人、2010年：1,388,000人

参考： 1月～11月の出国日本人数（年別で多い順、2010年は第7位）

2000年：16,386,621人、2006年：16,151,308人、2005年：16,001,768人、2007年：15,924,247人、
1997年：15,487,613人、2004年：15,411,320人、2010年：15,312,000人

【要因】 羽田空港の国際線発着枠拡大、円高などが、海外旅行にプラスに作用

- 11月のプラス要因は、羽田空港の国際線発着枠拡大（韓国、台湾、香港、タイ、シンガポール、米国、フランス、マレーシア）、米ドル等に対する円の高止まり、広州でのアジア競技大会（11月12日～11月27日）の観戦需要、台北花博の開催（11月6日～来年4月25日）などが挙げられる。
- 一方、沖縄県尖閣諸島沖の日本領海内で9月7日、違法操業中の中国漁船が海上保安庁の巡視船に衝突した。この事件を巡る報道等の影響で、10月以降、日本人の訪中旅行意欲が著しく減退している。

注： 2010年10月に、中国の諸都市で日本に対する抗議活動が行われ、日系スーパー、日本料理店などへの被害も生じた。外務省は10月19日付けで、訪中旅行について注意喚起を発出した。

- 米国の電子渡航認証システム（ESTA）の有料化（9月8日～）、エクアドルでの公務員法制定に対するデモの暴徒化（9月30日）及びキトを中心とする非常事態宣言の発出（9月30日～10月初旬）、ハイチでのコレラ流行（10月中旬～）、インドネシア・ジャワ島中部の火山噴火（10月26日～）及び一部空港の閉鎖（主に11月5日～7日）、トルコ・イスタンブールでの自爆テロ発生（10月31日）、マダガスカルでの一部軍人の反乱（11月17日～20日）、北朝鮮による韓国・延坪島砲撃（11月23日）などは局地的な阻害要因となった。

【市場別 訪日外客数（推計値）】

◆韓国

景気の回復、訪日旅行の宣伝効果、航空座席供給量の増加などが影響し、訪日客が5割強増加

11月： 197,200人（前年同月比51.3%増、66,800人増）

1～11月： 2,237,300人（前年同期比58.8%増、828,600人増）

訪日客は、11月に前年同月比51.3%増、1月～11月累計で前年同期比58.8%増とそれぞれ大幅な伸びを示した。月別では昨年11月以降、13か月連続の前年同月比増となった。本年11月の訪日客数は、これまで過去最高を記録していた2007年11月（218,488人）と比べて、約21,300人少なかった。また、本年1月～11月累計の訪日客数は、これまで過去最高を記録していた2007年1月～11月（2,391,801人）と比べて、約154,500人少なかった。

参考： 11月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第2位）
2007年：218,488人、2010年：197,200人

参考： 1月～11月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第3位）
2007年：2,391,801人、2008年：2,274,395人、2010年：2,237,300人

[要因]

- 景気の回復、低い失業率などを背景に、小売販売額が増加するなど消費意欲が活発化している。また、為替レートは円が高止まっているものの安定している。こうした状況は訪日旅行の需要拡大にプラスに作用している。

注： 韓国銀行によると、2010年第3四半期のGDPは、前年同期比4.4%増となった。前期に比べ伸率は鈍化した。消費や投資意欲は旺盛で、景気は堅調とみられている。（2009年第1四半期：4.3%減、第2四半期：2.2%減、第3四半期：1.0%増、第4四半期：6.0%増、2010年第1四半期：8.1%増、第2四半期：7.2%増）

注： 韓国統計庁によると、失業率は8か月連続で3%台が続いている。（2010年1月：5.0%、2月：4.9%、3月：4.1%、4月：3.8%、5月：3.2%、6月：3.5%、7月：3.7%、8月：3.3%、9月：3.4%、10月：3.3%、11月：3.0%）

注： 韓国統計庁によると、2010年10月の小売販売額は、前年同月比7.6%増の24兆1,225億ウォン（1兆7,662億円）となった。前年同月比18か月連続の増加を示した。

- ビジット・ジャパン事業の一環として、本年10月から11月の間、テレビ、雑誌、検索サイト、映画館、バス車体などを通じて、日本各地の様々な魅力を紹介するための広告を展開した。また、本年6月から9月にかけて、旅行会社の訪日旅行商品を支援するための共同広告も展開した。これにより、訪日旅行需要が喚起されたと考えられる。

注： 旅行会社との共同広告は、格安航空会社利用商品、クルーズ商品、新規開発商品などの需要を拡大するために展開された。

- 本年3月以降、日韓間の航空便が急増している。なお、10月31日からの羽田⇄ソウル（金浦）便の増便に伴い、JNTOと日系航空会社は10月から12月まで共同で広告を展開し、集客力を高めた。

注： 日韓間の航空便の拡大

茨城⇄ソウル（仁川） 2010年3月11日、週7便で新規就航（アジアナ航空）

青森⇄ソウル（仁川） 2010年3月28日以降、週3便から週4便に増便（大韓航空）

中部⇄ソウル（金浦） 2010年3月28日、週7便で新規就航（済州航空）

中部⇄済州 2010年3月28日以降、週3便から週5便に増便（大韓航空）

関西⇄済州 2010年3月28日以降、週6便から週7便に増便（大韓航空）
 福岡⇄釜山 2010年3月29日、週7便で新規就航（エア釜山）
 羽田⇄釜山 2010年4月16日から10月25日まで、週1便の深夜チャーター便を運航（大韓航空）
 関西⇄釜山 2010年4月26日、週7便で新規就航（エア釜山）
 羽田⇄釜山 2010年5月7日から10月22日まで、週1便の深夜チャーター便を運航（アジアナ航空）
 対馬⇄釜山 2010年5月7日、週4便で新規就航（コリアエクスプレスエア）
 福島⇄ソウル（仁川） 2010年6月4日から10月29日まで、週2便のチャーター便を運航（イースター航空）
 関西⇄清州 2010年9月1日、週4便で新規就航（大韓航空）
 新千歳⇄ソウル（仁川） 2010年9月2日、週7便から週10便に増便（大韓航空）
 旭川⇄ソウル（仁川） 2010年10月1日から10月31日まで、週2便のチャーター便を運航（アジアナ航空）
 那覇⇄ソウル（仁川） 2010年10月31日以降、週3便から週5便に増便（アジアナ航空）
 羽田⇄ソウル（仁川） 2010年10月31日以降、週7便で新規就航（大韓航空）
 羽田⇄ソウル（金浦） 2010年10月31日以降、週14便から週21便に増便（日本航空）
 羽田⇄ソウル（金浦） 2010年10月31日以降、週14便から週21便に増便（全日空）
 羽田⇄ソウル（金浦） 2010年10月31日以降、週14便から週21便に増便（大韓航空）
 羽田⇄ソウル（金浦） 2010年10月31日以降、週14便から週21便に増便（アジアナ航空）

注： 日韓間の航路の拡大

門司⇄釜山 2010年5月17日から12月19日まで、週6便で新規就航（グランドフェリー）

注： 日韓間の航空便の縮小

北九州⇄ソウル（仁川） 2010年1月11日以降、週4便から週3便に減便（済州航空）

関西⇄釜山 2010年1月12日以降、週7便を運休（日本航空）

大分⇄ソウル（仁川） 2010年3月28日以降、週3便から週2便に減便（大韓航空）

長崎⇄ソウル（仁川） 2010年3月28日以降、週3便から週2便に減便（大韓航空）

成田⇄ソウル（仁川） 2010年10月1日以降、週21便から週14便に減便（日本航空）

◆台湾

訪日旅行の宣伝効果、景気の回復などにより、訪日客が増加

11月： 89,400人（前年同月比4.8%増、4,100人増）

1～11月： 1,186,800人（前年同期比25.5%増、241,100人増）

訪日客は、11月に前年同月比4.8%増、1月～11月累計で前年同期比25.5%増を記録した。月別では本年9月以降、3か月連続の前年同月比増となった。本年11月の訪日客数は、これまで過去最高を記録していた2007年11月（108,125人）と比べて、約18,700人少なかった。また、本年1月～11月累計の訪日客数は、これまで過去最高を記録していた2008年1月～11月（1,319,261人）と比べて、約132,500人少なかった。なお、1月～11月累計で、台湾は中国（大陸）の増加に押されて、市場別で第3位となっている。

参考： 11月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第5位）

2007年：108,125人、2006年：95,999人、2005年：93,862人、2008年：93,540人、2010年：89,400人

参考： 1月～11月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第5位）

2008年：1,319,261人、2007年：1,292,237人、2006年：1,223,334人、2005年：1,190,028人、
2010年：1,186,800人

[要因]

- ビジット・ジャパン事業の一環として、本年10月には、台湾でも人気のあるアイドルグループ「嵐」（観光立国ナビゲーター）による訪日旅行の宣伝広告を、テレビ、新聞、雑誌、鉄道駅構内、空港内などを通じて展開した。また、本年11月以降も、テレビ、新聞、雑誌、街頭スクリーン、地下鉄駅モニター、ビル看板などを通じて、訪日旅行の宣伝広告を継続して展開した。これにより、訪日旅行需要が喚起されたと考えられる。

- 景気が回復基調にあり、外国旅行需要にもプラスに働いている。

注： 台湾行政院主計処によると、台湾の経済成長率（実質 GDP）は、2010 年第 1 四半期が前年同期比 13.6%増、第 2 四半期が同 12.9%増、第 3 四半期（速報値）が同 9.8%増であった。

注： 台湾行政院主計処によると、2010 年 10 月の失業率は 4.92%で、前年同月比 1.04 ポイント減、前月（2010 年 9 月）比 0.13 ポイント減となった。

- 本年 10 月末に、羽田空港と台北市内の松山空港との間で直行便が就航した結果、日台間の航空座席供給量が若干増加した。但し、台湾系航空会社の一部航空機材が、昨年に比べて中国大陸向けにより多く割かれている影響で、日本へのチャーター便の機材繰りが厳しい状況にある。

注： 日台間の航空便の拡大

関西⇄台北（桃園） 2010 年 3 月 28 日以降、機材を大型化（中華航空）
 那覇⇄台北（桃園） 2010 年 3 月 28 日以降、週 11 便から週 14 便に回復（中華航空）
 関西⇄台北（桃園）⇄シンガポール 2010 年 7 月 5 日、週 7 便で新規就航（ジェットスター航空）
 広島⇄台北（桃園） 2010 年 8 月 7 日以降、週 5 便から週 6 便に増便（中華航空）
 中部⇄台北（桃園） 2010 年 8 月 31 日以降、週 6 便から週 7 便に増便（中華航空）
 成田⇄高雄 2010 年 10 月 31 日、週 3 便で新規就航（中華航空）
 羽田⇄台北（松山） 2010 年 10 月 31 日、週 14 便で新規就航（日本航空）
 羽田⇄台北（松山） 2010 年 10 月 31 日、週 14 便で新規就航（全日空）
 羽田⇄台北（松山） 2010 年 10 月 31 日、週 14 便で新規就航（中華航空）
 羽田⇄台北（松山） 2010 年 10 月 31 日、週 14 便で新規就航（エバー航空）
 関西⇄高雄 2010 年 11 月 5 日以降、週 2 便で定期チャーター便を運航（マンダリン航空）

注： 日台間の航空便の縮小

成田⇄台北（桃園） 2010 年 10 月 31 日以降、週 21 便から週 14 便に減便（日本航空）
 成田⇄台北（桃園） 2010 年 10 月 31 日以降、週 14 便から週 7 便に減便するとともに、機材を小型化（全日空）
 成田⇄台北（桃園） 2010 年 10 月 31 日以降、週 22 便から週 19 便に減便（中華航空）
 成田⇄台北（桃園） 2010 年 10 月 31 日以降、週 14 便から週 10 便に減便（エバー航空）
 中部⇄高雄 2010 年 10 月 31 日以降、週 4 便から週 2 便に減便（中華航空）
 那覇⇄台北（桃園） 2010 年 10 月 31 日以降、週 14 便から週 11 便に減便（中華航空）
 仙台⇄台北（桃園） 2010 年 10 月 31 日以降、週 4 便から週 2 便に減便（エバー航空）

- 11 月 27 日に台湾で、5 大市（台北、新北、台中、台南、高雄）の市長・市議会議員選挙が行われた。選挙期間中は全般的に外国旅行が手控えられた。

◆中国

中国漁船衝突事件、航空座席供給量の減少、広州でのアジア競技大会の観戦需要などが影響し、訪日客が二桁減

11 月： 68,500 人（前年同月比 15.9%減、13,000 人減）

1～11 月： 1,352,700 人（前年同期比 43.4%増、409,100 人増）

訪日客は本年 2 月から 9 月まで毎月、当該月ごとに過去最高を記録していたが、本年 10 月には 9 か月ぶりの前年同月比減（1.8%減）となり、11 月には減少幅が 15.9%減と拡大した。本年 11 月の訪日客数は、これまで過去最高を記録していた 2009 年 11 月（81,462 人）と比べて、約 13,000 人少なかった。但し、1 月～11 月累計の訪日客数は過去最高を維持しており、これまで過去最高を記録していた 2008 年 1 月～11 月（946,817 人）と比べて、約 405,900 人多かった。なお、1 月～11 月累計で、中国（大陸）は台湾を上回り、市場別で第 2 位となっている。

参考： 11 月の訪日客数（年別で多い順、2010 年は第 4 位）

2009 年：81,462 人、2008 年：73,131 人、2007 年：69,597 人、2010 年：68,500 人

[要因]

- 沖縄県尖閣諸島沖の日本領海内で本年9月7日、違法操業中の中国漁船が海上保安庁の巡視船に衝突した。この事件を巡る報道等の影響で、10月の国慶節休暇期間（10月1日～7日）後、観光やインセンティブを目的とした訪日旅行の申し込みが減少している。

注： 9月29日に、日本国内で中国人団体観光客が乗車した観光バスに対して妨害行為が発生したことをきっかけに、中国国家旅遊局は9月30日付けで、訪日旅行について注意喚起を発出した。11月にも同注意喚起は継続した。

注： 訪日団体観光ツアーは、上記の状況下においても、中国の旅行会社によって、9月以降も継続的に販売されている。また、訪日団体観光ツアーの販売広告は、中国の旅行会社によって国慶節休暇前に自粛されていたが、国慶節休暇後は復活している。

注： JNTOは9月29日付けで、JNTOウェブサイト（訪日旅行の公式ウェブサイト）を通じて、中国語による「訪日旅行歓迎メッセージ」を発信するとともに、中国のJNTO各事務所から現地の旅行会社やメディアに同メッセージを配布した。

- 11月12日から27日まで、広州でアジア競技大会が開催された。広州などでは観戦需要が高まり、外国旅行を手控える動きが見られた。
- 本年3月以降、日中間の航空便で拡大と縮小があった。

注： 日中間の航空便の縮小

成田⇄広州 2010年3月28日以降、航空機材を小型化（全日空）
中部⇄重慶 2010年3月28日以降、週7便を運休（中国国際航空）
関西⇄青島 2010年3月28日以降、週7便から週4便に減便（全日空）
関西⇄アモイ 2010年3月28日以降、週4便を運休（全日空）
関西⇄広州 2010年3月28日以降、航空機材を小型化（中国南方航空）
中部⇄広州 2010年10月1日以降、週4便を運休（日本航空）
関西⇄北京 2010年10月1日以降、週7便を運休（日本航空）
関西⇄広州 2010年10月1日以降、週3便を運休（日本航空）
旭川⇄上海（浦東） 2010年10月11日から2011年1月3日まで、定期チャーター便を運休（中国東方航空）
成田⇄瀋陽 2010年10月31日以降、週7便から週3便に減便（全日空）
成田⇄北京 2010年10月31日以降、航空機材を小型化（全日空）
中部⇄上海（浦東） 2010年10月31日以降、週7便を運休（全日空）

注： 日中間の航空便の拡大

新千歳⇄上海（浦東） 2010年3月28日以降、週3便から週4便に増便（中国東方航空）
成田⇄上海（浦東） 2010年3月28日以降、週14便から週21便に増便（全日空）
成田⇄深圳 2010年3月28日以降、航空機材を大型化（中国南方航空）
静岡⇄上海（浦東） 2010年3月28日以降、週2便から週4便に増便（中国東方航空）
中部⇄成都 2010年3月28日、週7便で新規就航（中国国際航空）
関西⇄深圳 2010年3月28日以降、航空機材を大型化（中国南方航空）
福岡⇄広州 2010年3月28日以降、週2便から週3便に増便（中国南方航空）
新千歳⇄北京 2010年7月4日以降、週2便から週4便に増便（中国国際航空）
茨城⇄上海（浦東） 2010年7月28日以降、週3便で定期チャーター便（座席数180席）を運航（春秋航空）
新千歳⇄瀋陽 2010年8月11日、週2便で運航再開（中国南方航空）
羽田⇄北京 2010年10月31日以降、航空機材を大型化（全日空）
羽田⇄上海（虹橋） 2010年10月31日以降、航空機材を大型化（全日空）
成田⇄上海（浦東） 2010年10月31日以降、航空機材を大型化（全日空）

- 一方、本年7月1日以降、訪日個人観光査証の発給条件が緩和されたことにより、個人観光旅行ができる層が拡大した。
- 中国政府が進める景気刺激策の効果もあり、経済は好調に推移しており、消費意欲は比較的旺盛である。

注： 中国国家統計局によると、中国の経済成長率（実質GDP）は、2010年第1四半期が前年同期比11.9%増、第2四半期が同10.3%増、第3四半期が同9.6%増であった。

注： 中国国家統計局によると、2010年第3四半期の都市部登録失業率は4.1%で、前年同期比0.2ポイント減となった。

注： 中国国家統計局によると、2010年10月の社会消費財小売総額は前年同月比18.6%増となった。

◆香港

マニラでの香港人バスジャック事件を契機とした外国旅行の手控え、円の高止まりなどにより、訪日客が1割強減少

11月： 27,400人（前年同月比14.7%減、4,700人減）
1～11月： 466,000人（前年同期比16.8%増、67,200人増）

訪日客は本年2月から9月まで毎月、当該月ごとに前年同月比増を記録していたが、本年10月には9か月ぶりの前年同月比減(23.7%減)となり、11月も減少基調(14.7%減)で推移した。本年11月の訪日客数は、これまで過去最高を記録していた2008年11月(35,787人)と比べて、約8,400人少なかった。また、1月～11月累計では、前年同期比16.8%増となったものの、これまで過去最高を記録していた2008年1月～11月(507,710人)と比べて、約41,700人少なかった。

参考： 11月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第4位）

2008年：35,787人、2007年：34,103人、2009年：32,125人、2010年：27,400人

参考： 1月～11月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第2位）

2008年：507,710人、2010年：466,000人

[要因]

- 本年8月23日、マニラで香港人の団体観光客を乗せたバスがバスジャックに遭い、乗客8名が殺害された。犯人が乗客を人質にする光景が香港のテレビで繰り返し放映され、香港人の間で恐怖感が増幅した。この事件の発生により、外国旅行意欲が減退し、訪日旅行需要にも影響を及ぼした。
- 沖縄県尖閣諸島沖の日本領海内で本年9月7日、違法操業中の中国漁船が海上保安庁の巡視船に衝突した。この事件の発生後、日本で中国人団体観光客を乗せたバスを包囲する妨害行為が発生したことから、マニラでのバスジャック事件が覚えやらぬ香港人の間で、訪日旅行に対する不安感が広まり、訪日旅行が敬遠された。
- 本年5月以降、円高香港ドル安が進行した。11月の月間平均レートは1香港ドル＝10.6円で、4月と比べて1.4円高、前年同月（2009年11月）と比べて0.9円高を記録した。消費者が旅行地として日本を選択する上で不利な状況となっている。（為替レート出典：三井住友銀行）
- 一方、ビジット・ジャパン事業の一環として、本年10月から11月にかけて、新聞、雑誌、地下鉄、バス停などを通じて、訪日旅行を宣伝するための広告を展開した。これにより、訪日旅行需要が下支えされたと考えられる。
- 景気が回復基調にあり、外国旅行需要にプラスに作用している。

注： 香港政府統計処によると、香港の経済成長率（実質GDP）は、2010年第1四半期が前年同期比8.2%増、第2四半期が同6.5%増、第3四半期が同6.8%増であった。

注： 香港政府統計処によると、2010年8月～10月の失業率は4.2%（暫定値、季節調整済み）で、前年同期比1.0ポイント減、また、前期比（2010年4月～6月）0.4ポイント減となった。失業率は全般的に低下傾向にある。

- 日香間、日・マカオ間の航空便が本年3月以降拡充された。

注： 日香間、日・マカオ間の航空便の拡大

新千歳⇄香港 2010年3月28日以降、週2便から週4便に増便（香港エクスプレス航空）

成田⇄マカオ 2010年3月28日、週3便で新規就航（マカオ航空）

→香港から訪日旅行をする際、マカオ経由便も利用されている。

那覇⇄香港	2010年5月1日から10月31日まで、週2便で季節運航便を運航（香港ドラゴン航空） →2010年11月21日以降、週2便で定期便化
成田⇄香港	2010年10月31日、週7便で新規就航（香港航空）
羽田⇄香港	2010年10月31日以降、週3便から週7便に増便（日本航空）
羽田⇄香港	2010年10月31日以降、航空機材を大型化（全日空）
羽田⇄香港	2010年10月31日、週14便で新規就航（キャセイパシフィック航空）
関西⇄香港	2010年10月31日以降、週21便から週28便に増便（キャセイパシフィック航空）
福岡⇄香港	2010年10月31日、週7便で運航再開（香港ドラゴン航空）

注： 日香間の航空便の縮小

関西⇄香港	2010年10月1日以降、週7便を運休（日本航空）
成田⇄香港	2010年10月31日以降、週42便から週35便に減便（キャセイパシフィック航空）
成田⇄香港	2010年10月31日以降、週14便から週7便に減便（日本航空）

◆タイ

景気の回復、航空便の拡大、訪日旅行番組の放映効果、訪日旅行商品の販促効果などにより、訪日客が3割強増加

11月： 18,900人（前年同月比32.2%増、4,600人増）
1～11月： 195,500人（前年同期比21.5%増、34,600人増）

訪日客は11月単月、1月～11月累計とも過去最高を記録した。月別では本年3月以降、9か月連続の前年同月比増となった。本年11月の訪日客数は、これまで過去最高を記録していた2009年11月（14,298人）と比べて、約4,600人多かった。また、本年1月～11月累計の訪日客数は、これまで過去最高を記録していた2008年1月～11月（179,912人）と比べて、約15,600人多かった。

[要因]

- 輸出と民間投資の拡大により、経済が好調に推移している。消費が伸びており、外国旅行需要も高まっている。

注： タイ財務省によると、2010年10月の輸出額は前年同月比15.6%増の171億米ドルとなった。12か月連続で二桁成長を記録している。

注： タイ中央銀行によると、2010年10月の民間消費指数は前年同月比3.2%増、民間投資指数は同17.4%増を記録した。

注： タイ国家経済社会開発委員会（NESDB）事務局によると、2010年第3四半期のGDPは前年同期比6.7%増となった

- 日タイ間の航空座席供給量が本年10月に拡大した。

注： 日タイ間の航空便の拡大

羽田⇄バンコク	2010年10月30日、週7便で新規就航（全日空）
羽田⇄バンコク	2010年10月31日、週7便で新規就航（日本航空）
羽田⇄バンコク	2010年10月31日、週7便で新規就航（タイ国際航空）
中部⇄バンコク	2010年10月31日以降、週7便から週10便に増便（タイ国際航空）
福岡⇄バンコク	2010年10月31日以降、週5便から週7便に増便（タイ国際航空）

注： 日タイ間の航空便の縮小

中部⇄バンコク	2010年10月1日以降、週7便を運休（日本航空）
---------	---------------------------

- 訪日旅行番組が複数放映され、訪日旅行の需要が喚起された。

注： 訪日旅行に関するテレビ番組の放映

訪日旅行特化型の番組「Say Hi!」	： チャンネル3で隔週日曜の0:00～0:30に放映
訪日旅行特化型の番組「ホリデー・ジャパン」	： チャンネル5で祝日（10月25日）のみ14:00～14:30に放映
旅行番組「サムットコージョン」	： チャンネル5で2010年9月～10月の日曜21:30～22:00に5週にわたって放映

- 「ディスカバリーワールド旅行フェア」が9月2日から5日までバンコクで開催された。年内の訪日旅行商品の販売実績が、昨年の1.5倍と好調であった。

◆シンガポール

航空便の拡大、景気的好調などにより、訪日客が2割弱増加

11月： 23,600人（前年同月比18.8%増、3,700人増）
1～11月： 144,200人（前年同期比30.7%増、33,900人増）

訪日客は11月単月、1月～11月累計とも過去最高を記録した。月別では本年9月以来、2か月ぶりの前年同月比増となった。本年11月の訪日客数は、これまで過去最高を記録していた2007年11月（20,391人）と比べて、約3,200人多かった。また、本年1月～11月累計の訪日客数は、これまで過去最高を記録していた2008年1月～11月（139,686人）と比べて、約4,500人多かった。

[要因]

- 本年10月末、羽田空港の国際線発着枠が拡大したことに伴い、羽田空港とシンガポールを結ぶ航空便が相次いで開設された。また、11月初めには関西路線も増強された。両国間の航空座席供給量が増加したことにより、訪日旅行需要が拡大した。

注： 日本⇄シンガポール間の航空便の拡大

羽田⇄シンガポール 2010年10月31日、週7便で新規就航（日本航空）

羽田⇄シンガポール 2010年10月31日、週7便で新規就航（全日空）

羽田⇄シンガポール 2010年10月31日、週14便で新規就航（シンガポール航空）

関西⇄シンガポール 2010年11月1日以降、週7便から週10便に増便（シンガポール航空）

注： 日本⇄シンガポール間の航空便の縮小、航空座席数の減少

関西⇄シンガポール 2010年1月17日以降、週7便を運休。月間で約7千席の減少となる。（日本航空）

成田⇄シンガポール 2010年10月31日以降、週7便を運休（日本航空）

- 経済成長率は第3四半期に入って鈍化しているものの、景気は依然として好調である。外国旅行の需要を下支えしている。

注： シンガポール通産省によると、2010年第3四半期のGDP（改定値）は前年同期比10.6%増となった。（参考：第1四半期のGDPは同16.9%増、第2四半期は同19.5%増であった。）

注： シンガポール経済開発庁によると、2010年10月の製造業生産高指数（2007年=100、速報値）は前年同月比31.0%増の122.2となった。

- 本年5月以降、シンガポールドルは、円に対し下落している反面、米ドルやユーロに対してはシンガポール高で推移している。訪日旅行よりも訪米旅行、訪欧旅行に対して割安感が膨らんでいるため、訪日旅行需要の一部が割安な地域へと流れている。

注： 11月の月間平均レートは1シンガポールドル=63.6円で、円高が進行する以前の4月（1シンガポールドル=67.6円）と比べて4.0円高を記録した。一方、他通貨に対しては、11月には1米ドル=1.30シンガポールドル、1ユーロ=1.77シンガポールドルとなり、4月（1米ドル=1.38シンガポールドル、1ユーロ=1.86シンガポールドル）と比べて各々0.08シンガポールドル高、0.09シンガポールドル高となった。（為替レート出典：三井住友銀行）

◆豪州

航空便の縮小、旅行地間の誘致競争の激化などにより、訪日客が1割強減少

11月： 15,200人（前年同月比12.1%減、2,100人減）

1～11月： 201,000人（前年同期比7.2%増、13,600人増）

訪日客は、11月に前年同月比12.1%減、1月～11月累計で前年同期比7.2%増を記録した。月別では本年10月以降、2か月連続の前年同月比減となった。本年11月の訪日客数は、これまで過去最高を記録していた2009年11月（17,289人）と比べて、約2,100人少なかった。また、本年1月～11月累計の訪日客数は、これまで過去最高を記録していた2008年1月～11月（219,917人）と比べて、約18,900人少なかった。

参考： 11月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第3位）

2009年：17,289人、2007年：16,088人、2010年：15,200人

参考： 1月～11月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第2位）

2008年：219,917人、2010年：201,000人

[要因]

- 本年10月に、日系と豪州系の航空会社の共同運航便（成田⇄ブリスベン便）が運休し、航空座席供給量が減少した。また、本年9月から10月にかけて、日系航空会社が日欧間の航空路線数を縮小したことにより、豪州人の日本経由欧州行き需要が縮小した。但し、本年10月末に羽田空港への乗り入れを開始した香港やシンガポールの航空会社が、豪州においても羽田路線就航について広報を展開したことから、これらの経由便が日豪路線の航空座席供給量減の一部を補填した。

注： 日豪間の航空便の縮小

成田⇄ブリスベン 2010年10月1日以降、週7便を運休（日本航空の機材で運航、カンタス航空との共同運航便）

注： 日欧間の航空便の縮小

成田⇄アムステルダム 2010年9月30日以降、週7便を運休（日本航空）

成田⇄ミラノ 2010年9月30日以降、週4便を運休（日本航空）

成田⇄ローマ 2010年10月1日以降、週3便を運休（日本航空）

注： 日豪間の航空便の拡大

関西⇄ケアンズ 2008年12月に運休したが、2010年4月1日以降、週4便で再開（ジェットスター航空）

成田⇄シドニー 2010年7月5日以降、航空機材を大型化（カンタス航空）

注： 日欧間の航空便の拡大

羽田⇄パリ 2010年10月1日以降、週7便で新規就航（日本航空）

- 東南アジア系を始めとする格安航空会社が、豪州路線の拡大や豪州での販促強化を進めており、日豪間の航空路線に限らず多方面で割引競争が起こっている。運賃の低下に合わせて、東南アジア諸国などが誘致競争を活発化させており、日本より割安感のある旅行地が選ばれる傾向がみられている。
- 11月4日に、シンガポール発の豪州系航空機でエンジントラブルが発生し、その後、同型機の運航が1か月間停止された。同社では機材繰りを一時大幅に変更し、同社の成田⇄シドニー便を小型機で運航した他、同便の旅客を他社へ振り替えた。本件は訪日旅行にとってマイナスに作用した。
- 一方、ビジット・ジャパン事業の一環として、有力紙で日本特集を掲載すると

ともに、同紙のオンライン媒体上で広告を発信したことが、訪日旅行需要の下の支えにつながった。

◆米国

羽田就航効果で訪日客は増加に転じたものの、円高の進行、景気低迷などが影響し、伸びは緩やか

11月： 59,100人（前年同月比2.1%増、1,200人増）

1～11月： 673,300人（前年同期比4.5%増、29,000人増）

訪日客は、11月に前年同月比2.1%増、1月～11月累計で前年同期比4.5%増を記録した。月別では本年9月以来、2か月ぶりの前年同月比増となった。但し、本年11月の訪日客数は、これまで過去最高を記録していた2006年11月（65,216人）と比べて、約6,100人少なかった。また、本年1月～11月累計の訪日客数は、これまで過去最高を記録していた2005年1月～11月（763,995人）と比べて、約90,700人少なかった。

参考： 11月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第5位）

2006年：65,216人、2007年：64,115人、2005年：63,612人、2004年：61,772人、2010年：59,100人

参考： 1月～11月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第8位）

2005年：763,995人、2006年：758,348人、2007年：751,279人、2008年：713,407人、2004年：704,118人、
2002年：678,293人、2000年：674,364人、2010年：673,300人

[要因]

- 本年10月末、羽田空港の国際線発着枠が拡大したことに伴い、羽田空港と米国各地を結ぶ航空便が相次いで開設され、日米間の航空座席供給量が増加した。また、各航空便の集客力を高めるため、10月以降、JNTOと日系航空会社が共同で、有力紙に広告を掲載するとともに、旅行会社に対して就航PRセミナーを開催した。

注： 日米間の航空便の拡大、航空座席数の増加

関西⇄サンフランシスコ 2009年10月25日から2010年3月27日まで、週7便から週5便に減便していたが、2010年3月28日以降、週7便に回復（ユナイテッド航空）

成田⇄ニューヨーク 2010年6月1日以降、航空機材を大型化（デルタ航空）

関西⇄シアトル 2010年6月7日、週7便で新規就航（デルタ航空）

羽田⇄サンフランシスコ 2010年10月31日、週7便で新規就航（日本航空）

羽田⇄ロサンゼルス 2010年10月31日、週7便で新規就航（全日空）

羽田⇄ホノルル 2010年10月31日、週7便で新規就航（JAL ウェイズ）

羽田⇄ホノルル 2010年10月31日、週7便で新規就航（全日空）

羽田⇄ホノルル 2010年11月19日、週7便で新規就航（ハワイアン航空）

注： 日米間の航空便の縮小、航空座席数の減少

成田⇄ニューヨーク 2010年4月19日以降、航空機材を小型化（全日空）

成田⇄ニューヨーク⇄サンパウロ 2010年9月30日以降、週2便を運休（日本航空）

成田⇄サンフランシスコ 2010年10月31日、週7便を運休し、羽田に週7便を振替（日本航空）

成田⇄ソルトレイクシティ 2010年5月14日以降、週5便で運航していたが、10月31日以降、運休（デルタ航空）

注： 羽田便就航に関するJNTOと日系航空会社による宣伝活動

全日空： 2010年10月から12月にかけて、JNTOと共同で、雑誌、有力紙、大手オンラインを通じて広告を展開した。

日本航空： 2010年10月に、JNTOや観光関連業界と共同で、米国の旅行会社に対して就航PRセミナーを開催した。

- 本年7月以降、円高の急進により、日本人の訪米旅行需要が回復基調にある。また、米国企業の外国出張需要が徐々に回復するとともに、出張費節約のため

に以前に比べてビジネスクラスよりもエコノミークラスを利用する割合が高まっている。そのため、特に米国本土との間のエコノミークラスの座席占有率は、羽田空港の国際線発着枠拡大後でも、昨年と比べて高い状態にあり、一部路線では、観光目的の米国人が航空座席を確保しにくい状態となっている。

注： 2009年11月と2010年11月の格安往復航空運賃の最低価格帯（米国での発券価格、燃油サーチャージを含む）
ニューヨーク⇄成田 2009年 800～1,000米ドル台 → 2010年 900～1,100米ドル台
ロサンゼルス⇄成田 2009年 700～800米ドル台 → 2010年 800～1,000米ドル台

- 7月に円高米ドル安が進行し、11月までの間、円高傾向が続いている。11月の月間平均レートは1米ドル＝82.6円で、6月と比べて8.4円高、前年同月（2009年11月）と比べて6.7円高であった。消費者が旅行地として日本を選択する上で不利な状況となっている。（為替レート出典：三井住友銀行）
- 高失業率などの指標が示すとおり、景気が完全に回復しておらず、個人消費支出も伸び悩んでいる。

注： 米国労働省によると、失業率は依然高い水準に留まっている。（2010年1月：9.7%、2月：9.7%、3月：9.7%、4月：9.9%、5月：9.7%、6月：9.5%、7月：9.5%、8月：9.6%、9月：9.6%、10月：9.6%、11月：9.8%）

注： 米国商務省によると、個人消費支出には大きな伸びが見られていない。（前月比で、2010年1月：0.2%増、2月：0.5%増、3月：0.5%増、4月：0.0%、5月：0.2%増、6月：0.0%、7月：0.5%増、8月：0.5%増、9月：0.3%増、10月：0.4%増）

◆カナダ

航空座席供給量の減少、円高の進行などにより、訪日客が減少

11月： 11,600人（前年同月比6.3%減、800人減）
1～11月： 141,100人（前年同期比1.2%増、1,700人増）

訪日客は、11月に前年同月比6.3%減、1月～11月累計で前年同期比1.2%増を記録した。月別では本年10月以降、2か月連続の前年同月比減となった。本年11月の訪日客数は、これまで過去最高を記録していた2006年11月（15,043人）と比べて、約3,400人少なかった。また、本年1月～11月累計の訪日客数は、これまで過去最高を記録していた2008年1月～11月（153,761人）と比べて、約12,700人少なかった。

参考： 11月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第6位）
2006年：15,043人、2007年：14,596人、2008年：12,752人、2009年：12,375人、2005年：11,810人、
2010年：11,600人

参考： 1月～11月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第4位）
2008年：153,761人、2007年：149,761人、2006年：143,076人、2010年：141,100人

[要因]

- 本年10月に、日加間の主要航空路線の一部で航空機材が小型化され、航空座席供給量が減少した。この影響で、日本を旅行目的地とするカナダ人が減少したほか、成田を経由してアジア諸都市へ向かうアジア系カナダ人（インド系、中国系など）の日本経由需要も減少した。

注： 日加間の航空便の縮小、航空座席数の減少
成田⇄バンクーバー 2010年10月1日以降、航空機材を小型化（日本航空）
成田⇄カルガリー 2010年3月28日から10月28日まで、週3便で新規の定期便を運航したが、10月29日以降運休した。2011年3月末に再開予定（エア・カナダ）

- 本年5月以降、円高カナダドル安が進行した。11月の月間平均レートは1カナダドル＝81.6円で、4月と比べて11.4円高、前年同月（2009年11月）と比べて2.7円高を記録した。消費者が旅行地として日本を選択する上で不利な状況となっている。（為替レート出典：三井住友銀行）
- 一方、実質経済成長率は第2四半期、第3四半期に連続して鈍化したものの、景気は依然として堅調である。実質所得は長期にわたって増加しており、訪日旅行需要の下支えにつながっている。

注： カナダ統計局によると、2010年9月の平均週給は前年同月比4.3%増で、24か月連続の実質増収となった。

注： カナダ統計局によると、カナダの実質経済成長率（GDP、年率換算）は、2010年第1四半期が前年同期比5.6%増、第2四半期が同2.3%増、第3四半期が同1.0%増であった。（月別の実質経済成長率（GDP、年率換算）は、前月比で、3月：0.5%増、4月：0.0%、5月：0.1%増、6月：0.2%増、7月：0.1%減、8月：0.3%増、9月：0.1%減）

- ビジット・ジャパン事業の一環として、本年8月以降、カナダ国内で160超の直営店舗を有する大手流通網と連携し、訪日旅行商品の販促キャンペーンを実施していたが、9月からは販路を更に拡大して、約400の店舗で訪日旅行商品の販売を展開している。これにより、訪日旅行需要が掘り起こされた。

注： 大手流通網を活用した販促キャンペーン

JNTOがツアー造成支援をした値頃感のある訪日旅行商品を大量に販売するため、大手流通網と提携して、カナダ国内の約400の店舗とウェブサイトを通じて宣伝した。

- 本年9月以降、割安航空券の販売競争が激しくなっており、訪日旅行需要が掘り起こされている。

注： 日加間の割安航空券の販売競争

日本航空とエア・カナダは、成田⇄バンクーバー路線の割安航空券の販売競争を展開している。両社とも2011年2月まで、一部期間を除き、約700カナダドル（税抜き）の割引運賃を設定している。購入期限は、日本航空が12月7日まで、エア・カナダは12月14日までである。

◆英国

円の高止まり、航空便の縮小により、訪日客が低迷

11月： 15,100人（前年同月比1.1%減、200人減）
1～11月： 171,400人（前年同期比2.2%増、3,700人増）

訪日客は、11月に前年同月比1.1%減、1月～11月累計で前年同期比2.2%増を記録した。月別では本年8月以来、3か月ぶりの前年同月比減となった。本年11月の訪日客数は、これまで過去最高を記録していた2006年11月（18,655人）と比べて、約3,600人少なかった。また、本年1月～11月累計の訪日客数は、これまで過去最高を記録していた2005年1月～11月（205,243人）と比べて、約33,800人少なかった。

参考： 11月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第12位）

2006年：18,655人、2007年：17,682人、2005年：17,573人、2004年：17,018人、2003年：16,857人、
2000年：16,681人、2002年：16,615人、1999年：16,195人、2008年：15,897人、2001年：15,444人、
2009年：15,264人、2010年：15,100人

参考： 1月～11月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第10位）

2005年：205,243人、2002年：204,431人、2007年：204,412人、2004年：200,599人、2006年：200,427人、
2008年：191,729人、2003年：186,248人、2001年：183,826人、2000年：179,445人、2010年：171,400人

[要因]

- 5月に円高英ポンド安が急進し、11月までの間、円の高止まりが継続した。11月の月間平均レートは1英ポンド=131.9円で、4月と比べて11.4円高、前年同月（2009年11月）と比べて16.5円高であった。消費者が旅行地として日本を選択する上で不利な状況となっている。（為替レート出典：三井住友銀行）
- 日英間の航空座席供給量が昨年12月に縮小した。日によっては座席の確保が困難な状況になっている。また、航空座席供給量の減少に伴い、航空運賃が高止まった状態が続いている。

注： 日英間の航空座席供給量の縮小

成田⇄ロンドン 2009年12月7日以降、週14便から週7便に減便（日本航空）

◆フランス

航空便の拡大、訪日旅行の宣伝効果、経済の上向き傾向などを背景に、訪日客が増加

11月： 11,100人（前年同月比8.6%増、900人増）

1～11月： 140,800人（前年同期比7.2%増、9,500人増）

訪日客は、11月に前年同月比8.6%増、1月～11月累計で前年同期比7.2%増を記録した。月別では本年5月以降、7か月連続の前年同月比増となった。但し、本年11月の訪日客数は、これまで過去最高を記録していた2007年11月（11,503人）と比べて、約400人少なかった。一方、1月～11月累計の訪日客数は過去最高を維持しており、これまで過去最高を記録していた2008年1月～11月（138,321人）と比べて、約2,500人多かった。

参考： 11月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第3位）

2007年：11,503人、2008年：11,214人、2010年：11,100人

[要因]

- 日仏間の航空便が本年10月に拡充された。

注： 日仏間の航空便の拡大

羽田⇄パリ 2010年10月31日、週7便で新規就航（日本航空）

- ビジット・ジャパン事業の一環として、訪日旅行に関するテレビ番組の放映（5～7月）、新聞、雑誌等（6～11月）を通じた訪日旅行記事の掲載などを行った。また、羽田への新規就航便を広報するため、11月に、日本航空では航空券が当たるキャンペーンを展開した。それと共に、JNTOと日本航空が共同で、同便に関する懸賞広告を展開した。これにより、訪日旅行意欲が高まった。
- 経済が緩やかながら回復傾向にある。訪日商用旅行の需要も上向き傾向にあるものと見られる。

注： フランス国立統計経済研究所によると、フランスの経済成長率は、2009年第4四半期が前期比0.6%増、2010年第1四半期が同0.2%増、第2四半期が同0.7%増、第3四半期が同0.4%増と、緩やかな回復を示している。

- 一方、ギリシャが財政危機に陥った影響で、本年5月に円高ユーロ安が急進し、11月までの間、円の高止まりが継続した。11月の月間平均レートは1ユーロ=112.8円で、4月と比べて12.8円高、前年同月（2009年11月）と比べて20.4円高を記録した。消費者が旅行地として日本を選択する上で不利な状況となってい

る。(為替レート出典：三井住友銀行)

◆ドイツ

日独間の航空座席供給量の増加、景気的好調などにより、訪日客が2割弱増加

11月： 12,500人（前年同月比19.7%増、2,100人増）
1～11月： 117,000人（前年同期比12.7%増、13,100人増）

訪日客は、11月に前年同月比19.7%増、1月～11月累計で前年同期比12.7%増を記録した。月別では本年5月以降、7か月連続の前年同月比増となった。本年11月の訪日客数は、これまで過去最高を記録していた2007年11月(12,555人)と比べて、約50人少なかった。また、本年1月～11月累計の訪日客数は、これまで過去最高を記録していた2008年1月～11月(119,298人)と比べて、約2,300人少なかった。

参考： 11月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第2位）
2007年：12,555人、2010年：12,500人

参考： 1月～11月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第2位）
2008年：119,298人、2010年：117,000人

[要因]

- 本年6月、ドイツ系航空会社が日独航空路線で大型機材を導入した。また、本年7月、日系航空会社が日独航空路線で新規就航した。航空座席供給量の大幅増により、座席が確保しやすくなっている。また、航空券価格が割安になっていることから、低価格ツアーが出現している。

注： 日独間の航空便の拡大
成田⇄フランクフルト 2010年6月11日以降、週7便のうち週3便の航空機材を大型化（ルフトハンザ航空）
また、2010年8月2日以降、週7便全便を大型機材で運航（ルフトハンザ航空）
成田⇄ミュンヘン 2010年7月1日、週7便で新規就航（全日空）

- ユーロ安によりドイツからの輸出が大幅に伸びており、景気が好調になっている。これに伴い、訪日商用旅行の需要が拡大している。

注： ドイツ連邦統計局によると、2010年9月の輸出額は前年同月比22.5%増となった。7か月連続の二桁増を記録した。

注： ドイツ連邦統計局によると、ドイツの経済成長率（実質GDP、季節調整済み）は、2010年第1四半期が前期比0.6%増、第2四半期が同2.3%増、第3四半期が同0.7%増であった。

注： ドイツ連邦統計局によると、2010年10月以降、失業者数は300万人を割り込んでおり、18年ぶりの低水準となっている。（2010年1月：361.7万人、2月：364.3万人、3月：356.8万人、4月：340.6万人、5月：324.2万人、6月：315.3万人、7月：319.2万人、8月：318.8万人、9月：303.1万人、10月：294.5万人、11月：293.1万人）

- 一方、ギリシャが財政危機に陥った影響で、本年5月に円高ユーロ安が急進し、11月までの間、円の高止まりが継続した。11月の月間平均レートは1ユーロ＝112.8円で、4月と比べて12.8円高、前年同月（2009年11月）と比べて20.4円高を記録した。消費者が旅行地として日本を選択する上で不利な状況となっている。（為替レート出典：三井住友銀行）

2010年9月 国・地域別 / 目的別 訪日外客数 (暫定値)

Visitor Arrivals by Country/Area & Purpose of Visit for Sept. 2010 (provisional figures)

作成: 日本政府観光局(JNTO) / Compilation: Japan National Tourism Organization

国・地域	Country/Area	総数 Total			観光客 Tourism			商用客 Business			その他客 Others		
		2009年 9月 Sept.	2010年 9月 Sept.	伸率 % Change	2009年 9月 Sept.	2010年 9月 Sept.	伸率 % Change	2009年 9月 Sept.	2010年 9月 Sept.	伸率 % Change	2009年 9月 Sept.	2010年 9月 Sept.	伸率 % Change
総数	Grand Total	535,544	717,756	34.0	335,416	498,421	48.6	104,316	121,955	16.9	95,812	97,380	1.6
アジア	Asia Total	377,937	540,644	43.1	239,752	388,895	62.2	62,362	73,613	18.0	75,823	78,136	3.1
韓国	South Korea	105,470	193,975	83.9	64,273	151,270	135.4	25,039	26,444	5.6	16,158	16,261	0.6
台湾	Taiwan	77,471	102,811	32.7	66,382	90,330	36.1	7,020	8,267	17.8	4,069	4,214	3.6
中国	China	98,697	137,333	39.1	41,733	73,780	76.8	15,925	21,305	33.8	41,039	42,248	2.9
香港	Hong Kong	32,657	33,767	3.4	29,725	30,376	2.2	2,366	2,786	17.8	566	605	6.9
タイ	Thailand	11,863	12,777	7.7	7,518	7,792	3.6	2,118	2,776	31.1	2,227	2,209	-0.8
シンガポール	Singapore	9,336	10,929	17.1	7,115	8,219	15.5	1,924	2,414	25.5	297	296	-0.3
マレーシア	Malaysia	7,761	9,033	16.4	4,657	5,359	15.1	1,639	2,058	25.6	1,465	1,616	10.3
フィリピン	Philippines	5,036	6,133	21.8	2,384	3,246	36.2	1,056	1,232	16.7	1,596	1,655	3.7
インドネシア	Indonesia	10,638	13,681	28.6	8,257	10,781	30.6	813	1,053	29.5	1,568	1,847	17.8
インド	India	5,502	5,392	-2.0	2,130	1,514	-28.9	1,991	2,388	19.9	1,381	1,490	7.9
ベトナム	Vietnam	3,403	3,761	10.5	840	946	12.6	665	722	8.6	1,898	2,093	10.3
イスラエル	Israel	1,296	1,856	43.2	876	1,483	69.3	348	310	-10.9	72	63	-12.5
その他アジア	Asia Unclassified	8,807	9,196	4.4	3,862	3,799	-1.6	1,458	1,858	27.4	3,487	3,539	1.5
ヨーロッパ	Europe Total	65,356	73,051	11.8	36,878	41,743	13.2	19,402	22,261	14.7	9,076	9,047	-0.3
英国	United Kingdom	14,418	15,545	7.8	7,625	8,690	14.0	4,480	5,014	11.9	2,313	1,841	-20.4
フランス	France	10,159	11,475	13.0	6,034	6,538	8.4	2,670	3,432	28.5	1,455	1,505	3.4
ドイツ	Germany	9,696	11,534	19.0	4,629	5,805	25.4	3,920	4,619	17.8	1,147	1,110	-3.2
イタリア	Italy	4,901	5,065	3.3	3,066	3,202	4.4	1,298	1,328	2.3	537	535	-0.4
ロシア	Russia	3,637	3,994	9.8	2,114	2,178	3.0	840	990	17.9	683	826	20.9
スペイン	Spain	3,985	4,560	14.4	3,272	3,508	7.2	440	552	25.5	273	500	83.2
オランダ	Netherlands	2,425	2,793	15.2	1,301	1,545	18.8	948	1,063	12.1	176	185	5.1
スウェーデン	Sweden	2,018	2,273	12.6	903	1,016	12.5	858	988	15.2	257	269	4.7
スイス	Switzerland	2,073	2,309	11.4	1,321	1,576	19.3	605	588	-2.8	147	145	-1.4
フィンランド	Finland	1,155	1,117	-3.3	650	611	-6.0	359	348	-3.1	146	158	8.2
ベルギー	Belgium	1,109	1,547	39.5	533	924	73.4	468	515	10.0	108	108	0.0
オーストリア	Austria	1,554	1,252	-19.4	738	667	-9.6	511	395	-22.7	305	190	-37.7
デンマーク	Denmark	1,062	1,216	14.5	505	594	17.6	475	539	13.5	82	83	1.2
アイルランド	Ireland	745	982	31.8	385	505	31.2	224	356	58.9	136	121	-11.0
ノルウェー	Norway	745	858	15.2	386	411	6.5	248	327	31.9	111	120	8.1
ポルトガル	Portugal	670	805	20.1	511	652	27.6	115	100	-13.0	44	53	20.5
その他ヨーロッパ	Europe Unclassified	5,004	5,726	14.4	2,905	3,321	14.3	943	1,107	17.4	1,156	1,298	12.3
アフリカ	Africa Total	1,767	2,300	30.2	520	753	44.8	414	667	61.1	833	880	5.6
北アメリカ	North America Total	65,276	70,564	8.1	38,729	42,286	9.2	18,626	21,101	13.3	7,921	7,177	-9.4
米国	U.S.A.	52,322	56,599	8.2	29,330	31,912	8.8	16,583	18,906	14.0	6,409	5,781	-9.8
カナダ	Canada	10,869	11,570	6.4	7,941	8,735	10.0	1,688	1,771	4.9	1,240	1,064	-14.2
メキシコ	Mexico	1,605	1,738	8.3	1,265	1,330	5.1	202	231	14.4	138	177	28.3
その他北アメリカ	North America Unclassified	480	657	36.9	193	309	60.1	153	193	26.1	134	155	15.7
南アメリカ	South America Total	3,205	3,831	19.5	1,896	2,387	25.9	635	756	19.1	674	688	2.1
ブラジル	Brazil	1,530	1,922	25.6	873	1,213	38.9	364	438	20.3	293	271	-7.5
その他南アメリカ	South America Unclassified	1,675	1,909	14.0	1,023	1,174	14.8	271	318	17.3	381	417	9.4
オセアニア	Oceania Total	21,953	27,317	24.4	17,602	22,325	26.8	2,872	3,554	23.7	1,479	1,438	-2.8
豪州	Australia	18,833	23,500	24.8	15,387	19,556	27.1	2,314	2,915	26.0	1,132	1,029	-9.1
ニュージーランド	New Zealand	2,895	3,522	21.7	2,141	2,682	25.3	504	571	13.3	250	269	7.6
その他オセアニア	Oceania Unclassified	225	295	31.1	74	87	17.6	54	68	25.9	97	140	44.3
無国籍・その他	Stateless	50	49	-2.0	39	32	-17.9	5	3	-40.0	6	14	133.3

◆注1: 「訪日外客」とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から日本に永住する外国人を除き、これに、日本を経由して第三国へ向かうため日本に一時的に入国した通過客（一時上陸客）を加えた入国外国人旅行者のことである。「観光客」とは、短期滞在の入国者から「商用客」を引いた入国外国人で、親族友人訪問を含んでいる。「その他客」とは、観光、商用目的を除く入国外国人で、留学、研修、外交・公用などが含まれる。

◆注2: 本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆Note: If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

2010年1月～9月 国・地域別 / 目的別 訪日外客数 (暫定値)

Visitor Arrivals by Country/Area & Purpose of Visit for Jan.-Sept. 2010 (provisional figures)

作成: 日本政府観光局(JNTO) / Compilation: Japan National Tourism Organization

国・地域	Country/Area	総数 Total			観光客 Tourism			商用客 Business			その他客 Others		
		2009年 1月～9月 Jan.-Sept.	2010年 1月～9月 Jan.-Sept.	伸率 % Change	2009年 1月～9月 Jan.-Sept.	2010年 1月～9月 Jan.-Sept.	伸率 % Change	2009年 1月～9月 Jan.-Sept.	2010年 1月～9月 Jan.-Sept.	伸率 % Change	2009年 1月～9月 Jan.-Sept.	2010年 1月～9月 Jan.-Sept.	伸率 % Change
総数	Grand Total	4,942,192	6,600,699	33.6	3,429,968	4,912,488	43.2	843,890	1,006,136	19.2	668,334	682,075	2.1
アジア	Asia Total	3,489,371	5,045,262	44.6	2,464,720	3,885,441	57.6	508,169	626,961	23.4	516,482	532,860	3.2
韓国	South Korea	1,147,179	1,846,235	60.9	825,634	1,488,040	80.2	207,658	243,346	17.2	113,887	114,849	0.8
台湾	Taiwan	762,330	991,711	30.1	679,521	895,595	31.8	56,996	68,331	19.9	25,813	27,785	7.6
中国	China	753,795	1,177,760	56.2	354,801	727,568	105.1	124,555	168,114	35.0	274,439	282,078	2.8
香港	Hong Kong	326,868	408,214	24.9	303,834	381,506	25.6	19,564	22,948	17.3	3,470	3,760	8.4
タイ	Thailand	121,938	148,805	22.0	91,614	113,191	23.6	17,287	21,461	24.1	13,037	14,153	8.6
シンガポール	Singapore	76,837	107,063	39.3	59,779	85,484	43.0	14,971	19,370	29.4	2,087	2,209	5.8
マレーシア	Malaysia	56,551	76,780	35.8	35,289	51,499	45.9	14,213	17,859	25.7	7,049	7,422	5.3
フィリピン	Philippines	53,931	58,347	8.2	27,917	31,603	13.2	9,333	10,487	12.4	16,681	16,257	-2.5
インドネシア	Indonesia	42,644	56,883	33.4	27,369	37,625	37.5	6,438	8,532	32.5	8,837	10,726	21.4
インド	India	44,316	50,567	14.1	15,502	16,010	3.3	15,547	21,187	36.3	13,267	13,370	0.8
ベトナム	Vietnam	25,006	31,031	24.1	7,039	10,043	42.7	4,997	6,224	24.6	12,970	14,764	13.8
イスラエル	Israel	8,969	10,780	20.2	5,279	7,070	33.9	3,226	3,246	0.6	464	464	0.0
その他アジア	Asia Unclassified	69,007	81,086	17.5	31,142	40,207	29.1	13,384	15,856	18.5	24,481	25,023	2.2
ヨーロッパ	Europe Total	591,291	631,756	6.8	374,291	397,542	6.2	154,360	172,297	11.6	62,640	61,917	-1.2
英国	United Kingdom	134,141	137,817	2.7	83,354	84,020	0.8	35,546	39,121	10.1	15,241	14,676	-3.7
フランス	France	105,871	113,142	6.9	71,837	75,265	4.8	22,433	26,542	18.3	11,601	11,335	-2.3
ドイツ	Germany	80,765	89,190	10.4	41,119	44,697	8.7	32,182	37,073	15.2	7,464	7,420	-0.6
イタリア	Italy	44,755	46,816	4.6	31,309	32,640	4.3	10,147	10,941	7.8	3,299	3,235	-1.9
ロシア	Russia	34,316	37,359	8.9	21,372	23,624	10.5	7,082	8,234	16.3	5,862	5,501	-6.2
スペイン	Spain	32,046	34,387	7.3	26,732	28,488	6.6	3,352	3,896	16.2	1,962	2,003	2.1
オランダ	Netherlands	22,419	23,915	6.7	13,227	14,677	11.0	7,677	7,996	4.2	1,515	1,242	-18.0
スウェーデン	Sweden	18,820	21,291	13.1	10,182	12,031	18.2	6,833	7,190	5.2	1,805	2,070	14.7
スイス	Switzerland	17,014	19,062	12.0	11,617	13,463	15.9	4,411	4,581	3.9	986	1,018	3.2
フィンランド	Finland	13,702	12,349	-9.9	10,099	8,783	-13.0	2,771	2,710	-2.2	832	856	2.9
ベルギー	Belgium	10,168	11,695	15.0	5,831	6,704	15.0	3,510	4,140	17.9	827	851	2.9
オーストリア	Austria	10,282	10,390	1.1	6,241	6,398	2.5	2,855	2,910	1.9	1,186	1,082	-8.8
デンマーク	Denmark	9,520	10,758	13.0	5,510	6,451	17.1	3,419	3,729	9.1	591	578	-2.2
アイルランド	Ireland	7,696	7,959	3.4	4,359	4,336	-0.5	2,204	2,556	16.0	1,133	1,067	-5.8
ノルウェー	Norway	7,450	7,595	1.9	4,743	4,831	1.9	2,233	2,152	-3.6	474	612	29.1
ポルトガル	Portugal	6,142	8,095	31.8	5,096	6,988	37.1	738	808	9.5	308	299	-2.9
その他ヨーロッパ	Europe Unclassified	36,184	39,936	10.4	21,663	24,146	11.5	6,967	7,718	10.8	7,554	8,072	6.9
アフリカ	Africa Total	15,020	16,000	6.5	5,017	5,225	4.1	4,217	4,728	12.1	5,786	6,047	4.5
北アメリカ	North America Total	647,439	683,013	5.5	434,199	451,351	4.0	149,022	169,535	13.8	64,218	62,127	-3.3
米国	U.S.A.	519,868	548,159	5.4	334,359	345,971	3.5	133,673	151,924	13.7	51,836	50,264	-3.0
カナダ	Canada	112,535	116,174	3.2	89,469	92,664	3.6	13,105	14,401	9.9	9,961	9,109	-8.6
メキシコ	Mexico	10,971	14,166	29.1	8,689	10,761	23.8	1,280	2,080	62.5	1,002	1,325	32.2
その他北アメリカ	North America Unclassified	4,065	4,514	11.0	1,682	1,955	16.2	964	1,130	17.2	1,419	1,429	0.7
南アメリカ	South America Total	23,504	28,461	21.1	13,964	17,598	26.0	4,440	5,586	25.8	5,100	5,277	3.5
ブラジル	Brazil	11,719	15,357	31.0	6,722	9,408	40.0	2,507	3,377	34.7	2,490	2,572	3.3
その他南アメリカ	South America Unclassified	11,785	13,104	11.2	7,242	8,190	13.1	1,933	2,209	14.3	2,610	2,705	3.6
オセアニア	Oceania Total	175,105	195,711	11.8	137,405	154,946	12.8	23,650	26,996	14.1	14,050	13,769	-2.0
豪州	Australia	150,220	169,104	12.6	120,649	136,964	13.5	19,422	22,252	14.6	10,149	9,888	-2.6
ニュージーランド	New Zealand	22,495	24,367	8.3	15,701	17,115	9.0	3,836	4,276	11.5	2,958	2,976	0.6
その他オセアニア	Oceania Unclassified	2,390	2,240	-6.3	1,055	867	-17.8	392	468	19.4	943	905	-4.0
無国籍・その他	Stateless	462	496	7.4	372	385	3.5	32	33	3.1	58	78	34.5

◆注1: 「訪日外客」とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から日本に永住する外国人を除き、これに、日本を経由して第三国へ向かうため日本に一時的に入国した通過客(一時上陸客)を加えた入国外国人旅行者のことである。「観光客」とは、短期滞在の入国者から「商用客」を引いた入国外国人で、親族友人訪問を含んでいる。「その他客」とは、観光、商用目的を除く入国外国人で、留学、研修、外交・公用などが含まれる。

◆注2: 本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆Note: If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

2010年 年齢層 / 性別 出国日本人数

Japanese Overseas Travelers by Age and Gender for 2010

	1月	伸率	2月	伸率	3月	伸率	4月	伸率	5月	伸率	6月	伸率	7月	伸率	8月	伸率	9月	伸率	10月	伸率	11月	伸率	12月	伸率	累計	伸率	構成比		
	Jan.	Chg %	Feb.	Chg %	Mar.	Chg %	Apr.	Chg %	May	Chg %	June	Chg %	July	Chg %	Aug.	Chg %	Sept.	Chg %	Oct.	Chg %	Nov.	Chg %	Dec.	Chg %	Cumulative	Chg %	Share %		
総数 (Total)	1,264,299	7.8	1,289,825	-5.1	1,563,113	10.2	1,212,959	0.9	1,262,453	21.8	1,312,608	38.5	1,405,335	10.1	1,642,240	8.3	1,541,041	-3.1									12,493,873	8.4	100.00
男性 (Male)	701,815	11.7	678,099	-4.4	822,533	11.9	686,726	7.2	707,363	29.3	750,992	37.0	762,964	11.5	852,352	9.6	818,587	1.8									6,781,431	11.6	54.28
0~4	9,760	-8.2	7,870	8.7	8,811	4.5	9,697	-5.8	8,811	8.6	8,684	24.5	13,788	-2.5	15,589	-7.3	11,762	-12.5									94,772	-1.4	0.76
5~9	11,305	-9.6	6,614	7.4	14,088	1.4	10,285	-8.8	6,140	-15.5	5,427	19.7	23,618	-0.4	32,619	-5.7	6,099	-24.9									116,195	-4.8	0.93
10~14	9,902	-5.5	4,740	7.8	20,330	9.1	8,537	-11.7	4,030	-21.8	3,126	28.7	23,209	14.2	41,738	2.1	3,446	-25.8									119,058	2.1	0.95
15~19	10,331	-18.4	11,586	0.3	32,441	8.7	6,281	-6.7	6,156	83.1	7,347	139.0	17,643	57.6	30,448	9.7	9,932	-20.7									132,165	11.3	1.06
20~24	22,315	-0.9	58,892	-9.5	67,459	-4.3	11,810	-8.5	14,243	26.9	15,581	38.6	16,989	14.3	44,290	13.7	43,434	-3.6									295,013	0.9	2.36
25~29	42,718	3.2	50,577	-8.4	54,747	1.5	41,649	-2.4	46,776	21.6	49,016	37.9	47,229	13.0	53,967	8.5	63,960	0.4									450,119	6.7	3.60
30~34	62,879	6.6	58,977	-6.6	62,420	9.5	62,755	3.3	65,976	27.8	71,510	38.4	66,637	14.0	67,446	10.8	83,182	3.7									601,782	10.9	4.82
35~39	79,841	10.5	70,281	-6.0	79,350	12.5	78,843	9.0	81,276	35.2	89,228	40.7	85,622	14.1	87,646	11.5	96,184	8.2									748,271	14.1	5.99
40~44	83,318	14.0	71,979	-3.5	86,279	14.8	81,554	12.0	82,500	37.7	89,098	36.5	92,089	14.4	100,086	12.8	94,138	9.0									781,041	15.5	6.25
45~49	81,900	18.5	71,090	0.9	89,112	19.5	81,234	18.1	82,450	44.7	87,571	39.7	90,735	17.8	102,356	18.7	92,115	11.8									778,563	20.1	6.23
50~54	71,413	15.6	63,691	-2.8	76,481	16.2	69,668	14.6	72,374	38.1	76,597	36.1	76,614	14.3	85,222	15.6	81,790	7.7									673,850	16.3	5.39
55~59	65,148	9.2	59,361	-9.8	67,618	9.0	64,679	5.0	66,127	21.7	69,988	29.0	68,054	4.4	70,049	5.8	73,562	-2.7									604,586	7.1	4.84
60~64	73,669	21.3	69,312	-1.1	77,118	20.6	76,403	9.8	78,053	24.9	82,624	37.3	71,611	8.8	64,112	8.7	80,408	0.2									673,110	13.7	5.39
65~69	41,515	18.5	39,981	-6.7	44,446	17.2	44,175	1.9	47,238	16.6	49,534	28.8	37,310	-2.4	30,864	0.0	42,380	-10.3									377,443	6.5	3.02
70~	35,801	30.6	33,668	1.6	41,833	27.4	39,156	5.2	45,213	29.1	45,661	42.3	31,816	2.0	25,920	4.5	36,195	-8.3									335,263	14.4	2.68
不詳 (Unknown)	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-									0	-	0.00
女性 (Female)	562,484	3.4	611,726	-5.9	740,580	8.3	526,233	-6.2	555,090	13.4	561,616	40.5	642,371	8.5	789,888	6.9	722,454	-8.2									5,712,442	4.9	45.72
0~4	9,211	-11.6	7,611	8.8	8,413	3.5	9,413	-5.8	8,550	4.9	8,266	21.9	13,137	-5.0	15,092	-7.6	11,136	-13.0									90,829	-2.8	0.73
5~9	11,121	-7.4	6,413	3.2	13,848	3.3	9,928	-9.0	6,043	-13.3	5,440	17.9	23,473	0.4	31,920	-6.8	6,021	-25.6									114,207	-4.7	0.91
10~14	9,702	-7.6	4,588	5.7	20,776	10.0	8,806	-10.9	4,443	-21.6	3,443	39.8	25,846	16.7	43,265	3.0	3,630	-30.9									124,499	2.8	1.00
15~19	14,068	-10.6	17,863	3.0	50,897	10.2	9,108	-11.0	7,956	49.2	9,278	120.4	32,342	69.4	49,886	7.7	19,422	-22.3									210,820	11.3	1.69
20~24	53,220	1.9	135,710	-4.5	127,557	5.1	25,783	-11.7	28,657	13.9	30,694	36.7	38,165	6.6	89,470	8.3	94,834	-9.7									624,090	1.3	5.00
25~29	70,814	0.2	77,461	-9.4	73,249	1.7	62,596	-7.9	69,817	11.3	72,368	36.3	78,607	6.0	87,030	5.8	110,290	-7.8									702,232	2.1	5.62
30~34	65,235	-2.7	61,223	-10.7	59,187	2.3	60,246	-8.2	61,191	7.0	64,250	32.1	67,977	2.4	70,651	5.2	91,019	-5.6									600,979	1.0	4.81
35~39	57,580	-0.8	48,220	-9.1	54,066	5.2	51,008	-7.4	50,044	6.8	50,869	35.0	64,958	6.8	75,125	7.7	69,360	-3.7									521,230	3.3	4.17
40~44	43,409	1.5	35,092	-6.6	49,458	8.6	39,010	-5.3	37,056	10.1	36,536	35.9	55,409	12.2	74,898	15.0	47,784	-0.7									418,652	7.3	3.35
45~49	36,707	5.4	32,579	-6.4	49,763	9.8	34,822	-3.2	34,511	15.5	35,071	41.0	46,933	16.1	67,193	19.1	44,464	2.0									382,043	10.4	3.06
50~54	37,514	3.1	36,656	-11.8	48,644	6.2	37,090	-6.7	39,830	11.3	40,244	41.5	42,834	8.2	54,673	12.2	49,261	-5.8									386,746	5.0	3.10
55~59	42,961	3.4	41,944	-12.1	49,426	5.3	46,613	-9.2	51,097	9.9	50,721	37.4	44,679	1.3	44,226	1.9	52,401	-13.3									424,068	1.3	3.39
60~64	52,286	21.2	50,024	1.9	59,174	22.9	60,544	0.8	69,084	23.1	69,764	52.8	50,863	8.2	39,741	4.9	58,646	-7.9									510,126	13.2	4.08
65~69	31,850	18.0	30,257	-2.6	38,910	17.7	37,895	-6.3	45,939	20.6	45,675	44.2	30,149	-0.8	23,140	-2.6	33,801	-16.3									317,616	7.4	2.54
70~	26,806	22.5	26,085	7.7	37,212	24.0	33,371	0.6	40,872	30.3	38,997	53.2	26,999	6.7	23,578	3.6	30,385	-10.4									284,305	14.6	2.28
不詳 (Unknown)	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-									0	-	0.00

◆注：本資料を引用される際は、作成名・出典名の両方を明示してください。

◆Note: If reproduced, your credit line to the compiler and source is mandatory.

作成：日本政府観光局(JNTO) / 出典：法務省

Compilation: Japan National Tourism Organization; Source: Ministry of Justice

2005年～2009年 各国・地域別 日本人訪問者数 (日本から各国・地域への到着者数)

Japanese Overseas Travelers by Destination (Visitor Arrivals from Japan) from 2005 to 2009

	訪問先	Destination	基準	2005年	Chg.%	2006年	Chg.%	2007年	Chg.%	2008年	Chg.%	2009年	Chg.%	
ア	中国	China	N F V	3,389,976	1.7	3,745,881	10.5	3,977,479	6.2	3,446,117	-13.4	3,317,459	-3.7	
	韓国	South Korea	N F V	2,440,139	-0.1	2,338,921	-4.1	2,235,963	-4.4	2,378,102	6.4	3,053,311	28.4	
	香港	Hong Kong	R F V	1,210,848	7.5	1,311,111	8.3	1,324,336	1.0	1,324,797	0.0	1,204,490	-9.1	
	タイ	Thailand	N F T	1,196,654	-1.3	1,311,987	9.6	1,277,638	-2.6	1,153,868	-9.7	1,004,453	-12.9	
	台湾	Taiwan	R F V	1,124,334	26.7	1,161,489	3.3	1,166,380	0.4	1,086,691	-6.8	1,000,661	-7.9	
	シンガポール	Singapore	R F V	588,535	-1.7	594,406	1.0	594,514	0.0	571,040	-3.9	489,987	-14.2	
	インドネシア	Indonesia	R F T	517,879	-15.9	419,213	-19.1	508,820	21.4	546,713	7.4	475,766	-13.0	
	マレーシア	Malaysia	R F T	340,027	12.8	354,213	4.2	367,567	3.8	433,462	17.9	395,746	-8.7	
	マカオ	Macau	R F V	169,115	38.4	220,190	30.2	299,403	36.0	366,920	22.6	379,241	3.4	
	ベトナム	Vietnam	R F V	320,605	20.0	383,896	19.7	411,557	7.2	393,091	-4.5	359,231	-8.6	
	フィリピン	Philippines	R F T	415,456	8.7	421,808	1.5	395,012	-6.4	359,306	-9.0	324,980	-9.6	
	カンボジア	Cambodia	R F V	137,849	16.7	158,353	14.9	161,973	2.3	163,806	1.1	146,286	-10.7	
	インド	India	N F T	103,082	6.4	119,292	15.7	145,538	22.0	145,352	-0.1	124,219	-14.5	
	モルジブ	Maldives	N F T	23,269	-50.4	39,528	69.9	41,121	4.0	38,193	-7.1	36,641	-4.1	
	ラオス	Laos	N F V	22,601	11.2	23,147	2.4	29,770	28.6	31,569	6.0	28,081	-11.0	
	ネパール	Nepal	N F T	18,239	-24.7	22,242	21.9	27,058	21.7	23,383	-13.6	22,445	-4.0	
	ミャンマー	Myanmar	N F T	19,584	-3.5	18,945	-3.3	15,623	-17.5	10,881	-30.4	13,809	26.9	
	モンゴル	Mongolia	N F V	13,230	0.3	16,909	27.8	17,307	2.4	15,036	-13.1	11,496	-23.5	
	スリランカ	Sri Lanka	R F T	17,148	-12.7	16,189	-5.6	14,274	-11.8	10,075	-29.4	10,926	8.4	
	パキスタン	Pakistan	N F T	14,136	5.2	14,343	1.5	11,025	-23.1	8,294	-24.8	6,705	-19.2	
	バングラデシュ	Bangladesh	N F T	6,269	-20.2	4,370	-30.3	5,851	33.9					
	ブルネイ	Brunei	N F V	1,607	-19.7	3,319	106.5	4,154	25.2	4,489	8.1			
オセアニア	グアム	Guam	R F T	955,245	5.4	952,687	-0.3	931,079	-2.3	850,034	-8.7	825,129	-2.9	
	豪州	Australia	R F V	685,335	-3.5	651,070	-5.0	573,045	-12.0	457,232	-20.2	355,456	-22.3	
	北マリアナ諸島	Northern Mariana Islands	N F V	351,739	-8.1	269,780	-23.3	200,168	-25.8	213,299	6.6	191,111	-10.4	
	ニュージーランド	New Zealand	R F V	154,925	-6.1	136,401	-12.0	121,652	-10.8	102,482	-15.8	78,426	-23.5	
	パラオ	Palau	R F V	26,281	10.2	26,892	2.3	29,198	8.6	30,018	2.8	26,688	-11.1	
	ニューカレドニア	New Caledonia	R F T	31,486	7.7	29,833	-5.2	26,755	-10.3	20,225	-24.4	18,926	-6.4	
	タヒチ	Tahiti	R F T	21,986	-7.0	21,739	-1.1	23,240	6.9	18,769	-19.2	16,353	-12.9	
	フィジー	Fiji	R F T	27,380	12.2	24,369	-11.0	22,719	-6.8	21,639	-4.8	14,745	-31.9	
	トルコ	Turkey	N F V	116,969	81.9	125,755	7.5	168,852	34.3	149,731	-11.3	147,641	-1.4	
	エジプト	Egypt	N F V	74,446	5.5	87,939	18.1	129,590	47.4	108,225	-16.5			
	アラブ首長国連邦	U.A.E.	N HA T	N.A.	-	N.A.	-	N.A.	-	N.A.	-			
中央アジア	バーレーン	Bahrain	N F V	14,158	11.1	17,050	20.4	17,979	5.4					
	モロッコ	Morocco	N F T	17,044	8.4	18,255	7.1	16,902	-7.4	15,607	-7.7			
	ヨルダン	Jordan	N F V	9,418	6.0	10,551	12.0	12,532	18.8	13,492	7.7	12,752	-5.5	
	チュニジア	Tunisia	N F T	9,433	32.7	10,847	15.0	11,414	5.2	11,206	-1.8			
	アルメニア	Armenia	R F T	7,681	37.5	8,125	5.8	10,150	24.9	11,110	9.5			
	イスラエル	Israel	R F T	8,329	34.3	9,424	13.1	10,676	13.3	14,506	35.9	9,800	-32.4	
	オマーン	Oman	N HA T	7,350	1.0	6,796	-7.5	7,341	8.0	9,380	27.8			
	シリア	Syria	N F V	6,715	16.8	5,841	-13.0	6,958	19.1	8,325	19.6			
	サウジアラビア	Saudi Arabia	N F T	10,214	91.2	9,850	-3.6	12,438	26.3	14,590	17.3	6,539	-55.2	
	クウェート	Kuwait	N F V	8,449	-4.3	7,211	-14.7	6,551	-9.2	6,215	-5.1			
	カザフスタン	Kazakhstan	R F V	3,171	18.3	4,222	33.1	5,223	23.7	5,013	-4.0			
アフリカ	ナイジェリア	Nigeria	N F V	12,428	5.0	13,671	10.0	23,475	71.7	26,087	11.1			
	南アフリカ共和国	South Africa	R F T	27,284	18.2	31,989	17.2	31,855	-0.4	27,621	-13.3	24,655	-10.7	
	ジンバブエ	Zimbabwe	R F V	10,481	-39.8	12,124	15.7	12,949	6.8	14,803	14.3			
	ケニア	Kenya	R F V	N.A.	-	14,655	-	12,728	-13.1	7,411	-41.8	10,150	37.0	
	マダガスカル	Madagascar	N F T	5,952	73.4	6,697	12.5	7,397	10.5	7,500	1.4			
	フランス	France	R F T	666,000	-5.4	696,000	4.5	698,000	0.3	674,000	-3.4			
	ドイツ	Germany	R AA T	730,232	2.1	759,899	4.1	661,792	-12.9	597,655	-9.7	537,984	-10.0	
	イタリア	Italy	N F T	281,278	-8.9	323,451	15.0	320,681	-0.9	283,819	-11.5			
	スイス	Switzerland	R HA T	335,199	-	347,299	3.6	324,554	-6.5	277,657	-14.4	275,505	-0.8	
	英国	U.K.	R F V	332,000	-4.3	341,932	3.0	307,633	-10.0	238,910	-22.3	235,000	-1.6	
	スペイン	Spain	R F T	181,050	20.2	255,310	41.0	346,048	35.5	237,495	-31.4	228,574	-3.8	
ヨーロッパ	オーストリア	Austria	R AA T	278,686	8.6	267,909	-3.9	229,347	-14.4	208,150	-9.2	198,751	-4.5	
	クロアチア	Croatia	R AA T	32,748	42.8	64,751	97.7	86,404	33.4	143,704	66.3	163,400	13.7	
	チェコ	Czech Republic	N AA T	153,980	25.6	145,804	-5.3	136,587	-6.3	123,275	-9.7	114,777	-6.9	
	ベルギー	Belgium	R AA T	111,985	-11.5	110,076	-1.7	109,902	-0.2	100,712	-8.4			
	オランダ	Netherlands	R HA T	156,900	-4.2	141,700	-9.7	128,800	-9.1	114,400	-11.2	99,300	-13.2	
	ハンガリー	Hungary	N AA T	112,127	26.6	102,168	-8.9	94,894	-7.1	75,261	-20.7			
	ロシア	Russia	N F V	87,642	-5.1	97,648	11.4	83,621	-14.4	86,237	3.1	74,159	-14.0	
	フィンランド	Finland	R AA T	70,434	-0.4	78,940	12.1	82,473	4.5	80,180	-2.8	65,925	-17.8	
	ポルトガル	Portugal	R AA T	99,686	-16.4	76,821	-22.9	66,446	-13.5	63,486	-4.5	58,400	-8.0	
	スウェーデン	Sweden	R AA T	56,540	-4.3	56,006	-0.9	51,771	-7.6	49,745	-3.9			
	スロベニア	Slovenia	N AA T	12,152	35.2	19,880	63.6	24,506	23.3	38,795	58.3	47,128	21.5	
東ヨーロッパ	ポーランド	Poland	N F V	39,457	21.4	40,926	3.7	47,532	16.1	42,000	-11.6			
	ノルウェー	Norway	N F T	41,000	17.1	37,000	-9.8	32,000	-13.5	30,000	-6.3			
	デンマーク	Denmark	R AA T	39,963	0.8	33,762	-15.5	30,780	-8.8	29,458	-4.3			
	ルーマニア	Romania	R F V	13,736	5.5	14,185	3.3	15,512	9.4	13,095	-15.6			
	アイスランド	Iceland	N AA T	13,855	31.7	12,704	-8.3	10,797	-15.0	11,205	3.8	11,991	7.0	
	スロバキア	Slovakia	N AA T	14,321	34.5	15,878	10.9	13,496	-15.0	13,743	1.8	11,351	-17.4	
	アイルランド	Ireland	R F T	19,000	-38.7	19,000	0.0	16,000	-15.8	14,000	-12.5	11,000	-21.4	
	ギリシャ	Greece	N F T	45,609	-18.3	50,525	10.8	28,779	-43.0	10,926	-62.0			
	ブルガリア	Bulgaria	R F V	11,273	16.4	11,833	5.0	12,154	2.7	9,830	-19.7	8,458	-14.0	
	リトアニア	Lithuania	R AA T	8,936	-2.5	8,833	-1.2	9,105	3.1	9,349	2.1	7,599	-18.7	
	エストニア	Estonia	R AA T	8,066	9.6	8,093	0.3	6,799	-16.0	6,862	0.9	7,253	5.7	
ラトビア	Latvia	R AA T	5,732	1.0	5,249	-8.4	6,065	15.5	6,043	-0.4				
ウクライナ	Ukraine	R F T	5,295	17.5	6,833	29.0	6,903	1.0	6,437	-6.8	5,439	-15.5		
モナコ	Monaco	N HA T	7,674	-13.6	6,370	-17.0	6,444	1.2	6,017	-6.6	5,124	-14.8		
北米	米国	U.S.A.	R F T	3,883,906	3.6	3,672,584	-5.4	3,531,489	-3.8	3,249,578	-8.0	2,918,268	-10.2	
	(ハワイ州)	(Hawaii)	R F T	1,517,439	2.4	1,362,878	-10.2	1,296,421	-4.9	1,175,198	-9.4	1,168,080	-0.6	
	カナダ	Canada	R F V	441,783	1.1	401,127	-9.2	343,451	-14.4	287,198	-16.4	205,639	-28.4	
	ブラジル	Brazil	R F T	68,066	11.9	74,638	9.7	63,381	-15.1	81,270	28.2	66,655	-18.0	
	メキシコ	Mexico	N F T	65,788	-	68,981	4.9	71,857	4.2	69,797	-2.9	52,293	-25.1	
	ペルー	Peru	R F T	35,522	19.1	36,827	3.7	39,864	8.2	46,059	15.5			
	中米	アルゼンチン	Argentina	N F T	16,678	6.7	19,273	15.6						
		チリ	Chile	N F T	13,882	-3.2	13,230	-4.7	14,674	10.9	15,553	6.0	12,649	-18.7